

育成センターだより

第 217 号

令和 6 年 9 月 1 日



編集・発行： 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内

TEL 273-1111
内線 4114

中学校の部活がなくなる！？

少年補導委員会は、青少年の健全育成を目的として、巡回活動、環境チェック、あいさつ等を行っています。また、現代の子どもたちや青少年を理解するために研修もおこなっています。

5 月には、中学校部活の地域移行「**千曲坂城クラブ**」について、教育委員会の担当者より話を聞きました。その中で、「市内 A 中学の野球部員は 2 名です。」「令和 8 年度には、中学の部活はなくなります。」という話がありました。初めて聞いたという補導委員もいましたし、内容に驚いた方も多かったようです。



中学校の部活がなくなるとはどんなことなのでしょう。

「**千曲坂城クラブ**」については、2・3 ページへ



行事に改めて思うこと

東部児童センター長 大川 美恵

昨年度、始めの頃までは、コロナの影響で、地域や小中学校において、いろいろな行事の中止や縮小を余儀なくされてきました。児童センターの活動も同様でした。しかし、5 類への移行後は少しずつでしたが、元に戻しながら一年が経ち、従来の活動へと戻ってきました。

子ども達にとって、児童センターでの放課後は、わずかな時間ですが、とても大事な時間でもあります。以前、ある研修会で、行事は生活に変化や潤いを与え、子どもの成長に深く関わってくるとの講話を受けました。グループを作り、友達との活動を通して、相手を思いやる気持ち、困っている人の力になろうとする姿勢、友達と共に達成感、満足感や充実感を行事を通して、その過程を見守り、その過程を繰り返して子ども達は大きく成長するのだと思います。

いろいろな大変な時期もありましたが、今までの分を取り戻せるように、「行事のねらい」「実施する意味」を考えながら、配慮すべき点を検討して進めていきたいと考えています。

マスク越しのコミュニケーションが当たり前だった日常生活でしたが、今は子ども達の表情が読み取れて、声もしっかりと聞き取れるようになりました。こちらの感情も伝えやすくなり、子ども達とのコミュニケーションの距離も縮まっています。

心豊かな成長の手助けをしていきたいと思っています。

今日も職員は大勢の子ども達と

向き合っています。



第 3 日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 「おはよう」と あいさつかわし 増す笑顔 —

千曲坂城クラブが始まっています



千曲坂城クラブのロゴ
坂城中学校
生のデザイン
です

かつて、中学校の部活動は、毎日（朝と放課後）行われ、学校の先生が顧問として指導していました。生徒の多くが参加し、練習に励み、大会やコンクールに参加していました。しかし、現在、かつてのような部活動の存続が難しくなっています。

○少子化により、学校単位での部活動の存続が困難になってきた。単独チームが組めない、やりたい種目ができないという状況がある。

○生徒や保護者のニーズが多様化している。もっとやりたい、勝ちたいと思う生徒がいる一方、もっとゆるく、楽しくやりたいという生徒もいる。

○指導している教員の負担。部活動の活動時間は勤務時間外や休日で、長時間労働の原因になっている。また、経験のない部の顧問になる負担もある。

このような多くの課題が部活動にはあり、学校だけでは対応できない時代になってきています。そこで、国が部活動改革の方針を決め、それを受けて千曲市・坂城町では、「千曲坂城クラブ」を設立しました。令和5年3月のことです。

千曲坂城クラブは、「すべての子どもたちにスポーツと文化芸術活動ができる環境を保障する」という基本理念で、「地域の新たな絆づくり」「新たなまちづくり」を目指しています。

令和6年度は、18の専門部が開設され、1,056名の生徒が活動しています。指導者は、学校の教員と地域指導者がおり、分担しながら指導に当たっています。生徒たちは、自分の中学校だけの練習に加え、他の中学校との合同練習も行っています。そして、令和8年度には、部活動はなくなり、すべて「クラブ」へと移行します。



＜今年度の千曲坂城クラブ 専門部＞

バレーボール バスケットボール ソフトテニス
卓球 水泳 剣道 柔道 バドミントン ハンドボール
サッカー 陸上競技 軟式野球 吹奏楽 合唱 美術
ボッチャ 歴史・科学 総合文化

← ボッチャ専門部の様子 稲荷山養護学校で活動しています

「千曲坂城クラブ」の生徒や保護者からは、次のような声が寄せられています。

○より専門的な指導が受けられる環境になって、競技力が高められそう。

○自分の学校に部活動がなくても、練習できる環境があってうれしい。

○他校の人とも交流する機会が増えた。

●学校間の移動が大変。

●今後、平日も含めどのようになっていくのか、不安もある。



このように、地域の方の力を得て、動き出している千曲坂城クラブですが、一番の課題は、運営資金です。子どもたちが活動できるためには、指導者への謝金、活動費などが必要です。年会費

は、家庭の経済的負担を考えて、生徒 1 人 3,000 円です。このほかに千曲市、坂城町より予算をいただいておりますが、充分ではありません。そのため、「賛助会員」を募って、資金を集めています。

千曲坂城クラブのホームページもご覧ください



千曲坂城クラブ
sites.google.com

<少年補導委員の感想>



- ・子どもたちの部活動などの環境が変わっていて驚いた。現状を知らない人が大勢いるのではないかな。より広く、今の子どもたちの現状を市民に周知していくことが大切だと思う。
- ・子育てしてきた人は、どうにかしたい、という思いを持っている。少しずつなら、協力していけるのではないかな。
- ・中学校でのことが、生涯学習、スポーツにつながる。人生の友達もできる。大切にしたい。
- ・どの子ども、好きな活動が当たり前になれる環境を守っていかなければ、と思う。

ちくま青パト隊の活動から

ちくま青パト隊の巡回を行っています。小学校昇降口でのあいさつや見送り、下校への同行、公園等の巡回と安全確認、学校の先生・保護者との合同巡回・夏祭り巡回などです。



昇降口から出てくる 1 年生とあいさつを交わします。まだ入学して日が浅い子どもたちに声を掛けました。



終業式の日の下校。あいさつと見守りをしました。とても暑い日でした。気をつけて帰ってね。



7 月 13 日の上山田温泉夏祭り。とても多くの人でにぎわっていました。中学生もたくさんいました。

編集室の窓



ちくま青パト隊の巡回には、事務局もできるだけ同行しています。6 月初め、運動会の振替休業日で小学校が休みの日のことでした。公園で 3 人の子を遊ばせているご両親がいました。「家にスマホを置いて、遊びに来ました。」とのこと。お父さん、お母さんの目は、スマホに向かうことなく、子どもたちに向いていました。近くの公園で、ご両親に見守られて元気に遊ぶ小学生の子どもたち。遠くに遊びに行かなくとも、お金をかけなくとも、楽しい時間だったはず。そして、ご両親の愛情が心に注がれた時間だったのだと感じました。



～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「しょうらいのゆめ」

屋代小学校 3年 みやざき はるや

ぼくのしょうらいのゆめは、けいさつかんになることです。ぼくのお父さんは、けいさつかんなので、お父さんみたいにいろんな人をたすけたいな、と思いました。

お父さんのしごと場で、おまつりがありました。パトカーや白バイなど、けいさつかんが乗る乗り物に乗ることができました。ぼくも、パトカーに乗ってしごとをしたいなあと思いました。

けいさつかんになるために、たくさんべんきょうして、体もきたえて、人にもやさしくしたいです。しょうらいのゆめに向かってがんばります。

「妹とクレープ屋さん」

更級小学校 4年 小林 はなえ

私の将来の夢は、妹と一緒にクレープ屋さんをつくることです。私はよくお母さんにクレープを作ってもらっているのので、私もお母さんのクレープをまねして、食べている人を笑顔にしたいからです。大人でも子どもでも楽しめるお店をつくりたいです。

食べる人をみんな、すぐに笑顔にできるように、家で練習する時もあります。しょっぱいものや甘いものを分けて売りたいです。他にもコーヒーなどを売って、ゆったりできる時間をお客さんにあげたいです。だれが来ても楽しい、うれしいように、今から努力して、おいしくできるように妹とお母さんと一緒にがんばりたいです。

「僕の将来したいこと」

屋代中学校 3年 石黒 航太

僕の将来の夢は、鉄道の技術開発の仕事をし、安心安全の快適な移動空間を創ることです。技術開発の主な仕事は鉄道車両の乗り心地、安全性や快適性などを研究し、快適で安全性の高い車両を設計する仕事です。なぜ僕がこの仕事をしたいかというと、僕は鉄道が好きで、いつか僕が車両を開発し、利用する方々に、安心安全で快適な移動空間を創りたいと思ったからです。

この夢を果たすためには、高校受験に向かって全力を尽くし、自分の進路を切り拓いていくことが必要だと思います。僕は、この夢に向かってがんばっていきたいです。

教育相談・生活相談のご案内



千曲市では、次のような相談窓口を開いています。

ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

児童・生徒の教育や発達について
＜市総合教育センター＞
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105
平日 9:00～17:00

青少年の生活について
＜千曲市役所＞
少年育成センター（生涯学習課内）
電話 273-1111（内線 4114）
E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp